

鳥獣被害防止対策の概要について

I 鳥獣被害の現状・課題

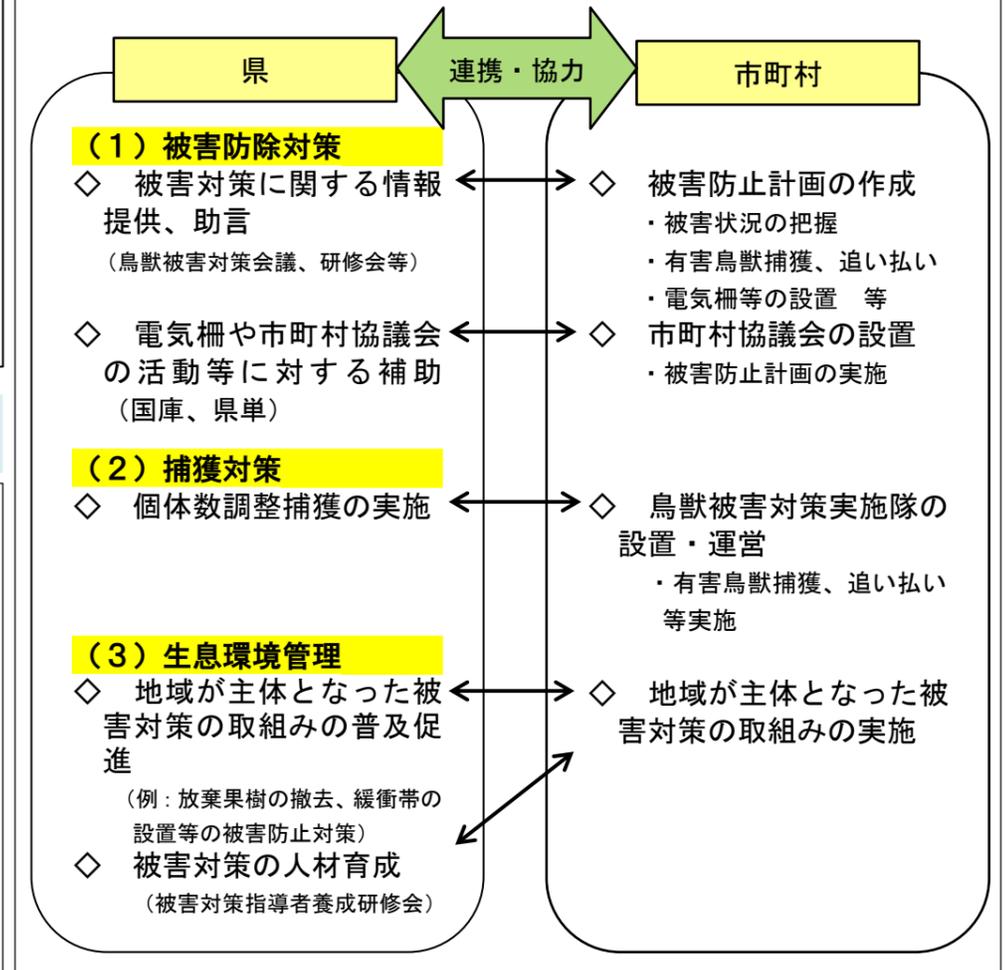
- 【現状】**
- 平成 29 年度農作物の被害額：約 5 億 7,300 万円
 - ・ 近年、県内の農作物被害額は約 6 億円前後で推移しており、獣類による被害が増加傾向にある。
 - ・ 特にイノシシの被害が増加しており、平成 29 年度は前年度の被害額の約 2 倍（約 5,100 万円）となっている。
 - ・ サルの被害は、近年 6,000 万円前後で推移している。
 - ・ ニホンジカについては、農作物被害は確認されていないが、近年、県内での目撃件数が増加している。
- 【重点課題】**
- 急増しているイノシシ被害対策を充実するとともに、捕獲数を増やし、生息数の抑制を図る。
 - 引き続き、被害を発生させるサルの群れの数の低減を図る。

関係法令等

- 鳥獣被害防止特措法（農林水産省所管）
 - ・ 市町村鳥獣被害防止計画
- 鳥獣保護管理法（環境省所管）
 - ・ 山形県第 1 2 次鳥獣保護管理事業計画
 - ・ 山形県イノシシ管理計画
 - ・ 山形県ツキノワグマ管理計画
 - ・ 山形県ニホンザル管理計画

III 県と市町村の連携・協力

- 有害鳥獣被害防止対策については、県と市町村が相互に連携・協力することにより、被害防止の効果を高める。
 なお、指定管理鳥獣であるイノシシの捕獲対策については、市町村が実施する有害鳥獣捕獲と県が実施する個体数調整捕獲において、季節で捕獲の分担を図り、通年で実施する。



II 有害鳥獣被害防止対策、野生鳥獣管理対策の概要

1 有害鳥獣被害防止対策 当初予算額：164,903千円

(1) 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会・講習会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な捕獲や電気柵の設置方法などの被害防除研修等 ○ 追い払い・追い上げ活動や被害状況調査への支援 ○ 電気柵、ワイヤーメッシュ柵の設置 <p>【農水省交付金・県単補助】 (市町村協議会への補助)</p>	(2) 捕獲対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシ、サル等の有害鳥獣捕獲への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害対策実施隊による捕獲実施 <p>【農水省交付金・県単補助】 (市町村協議会への補助)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ イノシシの生息数を抑制するため、県猟友会に委託し、個体数調整捕獲を実施 <p>【環境省交付金】（みどり自然課実施）</p>	(3) 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域が主体となった放棄果樹の撤去等による鳥獣を引き寄せない被害対策の取組みの普及促進（モデル事業：実証地区4ヶ所、アドバイザー派遣） ○ 鳥獣被害対策指導者養成研修会の開催 <p>【農水省交付金】 (みどり自然課・各総合支庁実施)</p>
--	---	--

2 野生鳥獣管理対策 当初予算額：13,194千円

- (1) 鳥獣管理推進事業
 - ・ 野生鳥獣の適正な管理に向けた生息状況の把握 ・ ニホンジカ管理計画の策定【新規】
- (2) 野生鳥獣捕獲体制強化支援事業
 - ・ 新規狩猟者の確保、育成の支援 ・ ライフル銃新規購入への助成【新規】

IV 対策の目標

- 鳥獣による農作物被害金額（第3次農林水産業元気再生戦略）
 - H27（現状）581 百万円 ⇒ R2（目標）440 百万円
- イノシシ個体数の増加抑制（山形県イノシシ管理計画）
 - H27（現状）推定生息数約 1,900 頭 ⇒ R2（目標）1,400 頭以下
- 加害するサルの群れの低減（山形県ニホンザル管理計画）
 - H28（現状）96 群 ⇒ R2（目標）62 群